

作成日：2026年 6月 4日

これまでに
「体細胞からの誘導多能性幹細胞（iPS細胞:induced pluripotent stem cell）を用いた遺伝性パーキンソン病の病態解明」
「体細胞からの誘導多能性幹細胞（iPS細胞: induced pluripotent stem cell）を用いた神経筋疾患の病態解明と治療法開発」
「神経筋疾患の iPS 細胞バンク構築に基づく病態解析および治療開発研究」
に参加された方へ
【過去の試料、診療情報の研究への使用のお願い】

順天堂大学医学部順天堂医院および各共同研究機関では「iPS細胞バンクを用いた神経筋疾患の病態解析および治療開発研究」という多機関共同研究を行っております。この研究は、神経筋疾患患者さんの体細胞およびそこから樹立した iPS 細胞を用いて研究室での基礎研究を行うことで、疾患の原因や新たな治療法を開発を行うことを主な目的としています。そのため、過去に①「体細胞からの誘導多能性幹細胞(iPS細胞:induced pluripotent stem cell）を用いた遺伝性パーキンソン病の病態解明」、②「体細胞からの誘導多能性幹細胞（iPS細胞: induced pluripotent stem cell）を用いた神経筋疾患の病態解明と治療法開発（M08-0449）」、③「神経筋疾患の iPS 細胞バンク構築に基づく病態解析および治療開発研究（E25-0405）」に参加いただいた患者さんの試料、カルテ等の診療情報を使用させていただきます。ただし、商業利用や第三者提供など、研究参加時の同意内容を超えた目的外利用を行うことはありません。

1.この研究の対象となるのは、パーキンソン病をはじめとする神経筋疾患およびその類縁疾患の方とその血縁者、健常者の方で、西暦2008年9月21日から西暦2026年7月31日の間に各共同研究機関で上記研究①②について「継続的な同等の研究計画での検体使用」を含めて文書により同意をいただき、血液・尿・皮膚サンプルを採取した方、および③について2025年12月15日以降に同意頂き、血液・尿・皮膚サンプルを採取した方です。

- ・利用させていただく試料：採取した血液・尿・皮膚サンプルおよび作製した iPS 細胞など培養細胞。
- ・利用させていただく診療情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査）など診療録に記載の情報。
- ・収集期間：研究実施許可日 ～ 西暦2031年3月31日
- ・試料・情報の管理責任者：順天堂大学医学部大学院ゲノム・再生医療センター
(研究代表者：赤松和土)

2.この研究は順天堂大学医学部医学系研究等倫理委員会の承認および研究機関の長の許可を受け、以下の期間で行われます。また、試料・情報の利用又は提供を開始する予定日および外部への提供を開始する予定日は以下のとおりです。

- 研究実施期間

各共同研究機関における研究実施許可日 ～ 西暦 2031 年 3 月 31 日

- 利用又は提供を開始する予定日

各共同研究機関における研究実施許可日

3.過去の試料や診療情報を使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、使用させていただいた患者さんへの謝礼等ありません。

4.患者さんの情報は、個人を特定できる情報とは切り離れた上で使用します。また、研究成果を学会や学術雑誌で発表しますが、患者さん個人を特定できる個人情報を含みません。

5.この研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は大学・研究者に帰属し、あなたには帰属しません。

6. この研究は、主として公的資金（文部科学省科学研究費助成事業、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）からの研究費）により実施されます。加えて、Michael J. Fox Foundation（MJFF）からの受託研究費の提供を受けています。なお、本研究で使用する AMED 研究費の一部には、住友ファーマ株式会社及び武田薬品工業株式会社の出資を原資とするものが含まれますが、これらは公正な公募を経て採択された研究費であり、研究は企業等から独立して実施されます。

また、本研究の実施者の一部は、住友ファーマ株式会社及びエーザイ株式会社との共同研究契約に基づき設置された共同研究講座に所属しています。この共同研究講座において得られたデータについては、企業等から独立した研究者によって確認されます。

さらに、本研究の一部は、小野薬品工業株式会社との共同研究契約に基づいて実施され、研究資金及び研究に用いる薬剤等の一部はこれらの企業から提供され、解析の一部には企業研究者も共同研究者として参加します。しかし、得られたデータの確認、統計解析、結果の解釈の最終的な判断については個人的利益相反のない研究者により行われるため、本研究の科学的客観性及び公正性が確保されるよう適切に管理されます。

この研究の研究責任者および研究者は、「順天堂大学医学系研究利益相反マネジメント規程」および「人を対象とする医学系研究に係る利益相反に関する標準業務手順書」に従って、順天堂大学医学部医学系研究利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査を受けています。

7. 試料・情報は、個人が特定できないよう氏名等を削除し、次の方法により提供します。

〔主な提供方法〕 ☒ 直接手渡し ☒ 郵送・宅配 ☒ 電子的配信 ☐ その他

提供元：順天堂大学

提供先：下記に示す＜共同研究機関＞および＜委託機関＞

ルクセンブルク、米国、英国、オーストラリアにおける個人情報保護に関する制度については個人情報保護委員会のWEBページをご覧ください。

(URL：<https://www.ppc.go.jp/enforcement/infoprovision/laws/>)

8. 本研究は以下の体制で実施します。(この研究は複数の研究機関で行います)

＜研究代表機関および研究代表者＞

順天堂大学大学院ゲノム・再生医療センター（研究代表者：赤松 和土）

＜共同研究機関および研究責任者＞

筑波大学 医学部脳神経内科、齊木臣二

東京科学大学 総合研究院病態細胞生物学、清水重臣

岐阜薬科大学 薬物治療学研究室、位田雅俊

浜松医科大学 医学部薬理学講座、大久保洋平

国立研究開発法人理化学研究所 生命医科学研究センター予測医学特別プロジェクト
医療データ深層学習特別チーム、清田純

国立研究開発法人産業技術総合研究所 細胞分子工学研究部門、木田泰之

小野薬品工業株式会社 ニューロロジー研究センター、笹村崇

University of Luxembourg, Cellular and Developmental Biology. Jens Schwamborn

University of Luxembourg, Department of Neurology. Rejko Krueger

McGill University, The Montreal Neurological Institute. Austen J Milnerwood

Northwestern University, Feinberg School of Medicine, Department of Neurology. Dimitri Krainc

Newcastle University, Cell Biology. Viktor Korolchuk

Cardiff University, UK Dementia Research Institute. Caleb Webber

University of California, San Francisco, Departments of Neurology and Physiology. Steven Finkbeiner

Organo Therapeutics. Jens Schwamborn

＜既存試料・情報のみを収集し提供する機関＞

慶應義塾大学再生医療リサーチセンター（提供責任者：岡野栄之）

島根大学医学部 小児科（提供責任者：竹谷健）

昭和大学 歯学部補綴学講座（提供責任者：馬場一美）

＜委託機関＞

株式会社 Rhelixa 責任者名：仲木 竜

株式会社マクロジェン・ジャパン 責任者名：安 光得

株式会社アゼンタ	責任者名：原田 暁美
株式会社タカラバイオ	責任者名：宮村 毅
Plasmidsaurus Inc.	責任者名：Mark Budde
株式会社ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ	責任者名：大畑 恭宏
株式会社 CUBICStars	責任者名：田中 義紀

この研究は「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究者等は、患者さんからインフォームド・コンセント（説明と同意）を受けることを必ずしも要しません。そのため同意を取得する代りに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。

この研究の対象となる方で、ご自身の試料・情報は利用しないでほしい等のご要望や、研究に関するご質問がございましたら、大変お手数ですが【お問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報の利用についてご了承いただけない場合でも、今後の治療などに影響することはありません。

【お問い合わせ先】

＜研究代表機関＞

順天堂大学医学部附属順天堂医院

ゲノム・再生医療センター 赤松和土

ゲノム・再生医療センター/脳神経内科 石川景一

E-mail: saisei@juntendo.ac.jp